

提 案 概 要

実施期日	7月29日(火)【午前】
部会名	小学校 図画工作部会

1 提案テーマ 『思いをふくらませていく図画工作の授業』を目指して ～表現⇔鑑賞～

2 単元(題材) 『自分の分身 ～夢や願いをこめて～ (3年)』
『平和を願って (5年)』
『未来にむかって ～いま、ここに、いる。～ (6年)』

3 学年 第3学年 ・ 第5学年 ・ 第6学年

4 平成25・26年度神奈川県小学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

③自分の思いを語る、友達とともに考える、感じたことを確かめるなどを視点にすえ、地域の美術館等を利用した鑑賞活動の充実

5 学習指導要領との関連(内容項目)

第2章 第7節 図画工作 第2 各学年の目標及び内容 [第3学年及び第4学年] 2内容

A 表現(2) ア 感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見つけて表すこと。

B 鑑賞(1) ア 自分たちの作品や身近な美術作品や製作の過程などを鑑賞して、よさや面白さを感じ取ること。

[共通事項] (1) イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。

第2章 第7節 図画工作 第2 各学年の目標及び内容 [第5学年及び第6学年] 2内容

A 表現(2) ア 感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことから、表したいことを見つけて表すこと。

B 鑑賞(1) イ 感じたことや思ったことを話したり、友人と話し合ったりするなどして、表し方の変化、表現の意図や特徴などをとらえること。

[共通事項] (1) イ 形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。

6 実践に向けての課題意識

テーマに沿って自由に表現する場合にイメージがもてなかったり、表現に対する自信や意欲が低かったりする児童がいることが課題だと考えた。

そこで、思いをふくらませ、つくりだす喜びを実感できるように、鑑賞と表現が作用し合うような単元構成とし、内面や思いを作品に盛り込むために題材設定や指導では以下のような工夫をした。

- ・導入において題材や素材との出会いを大切にする。
- ・美術作品や音楽、映像を鑑賞したりする中で、イメージを生み出したり、ふくらませたりする。
- ・教師や友人と対話したり自己内対話をしたりする中で、イメージをつくり上げていく。
- ・つくりながら想像をふくらませる。表現を広げる。
- ・作品の製作途中や完成後に、互いの作品を見合ったり、自分の作品を見つめ直したりする。

7 実践の概要

○言語活動の充実について

- ・導入において、美術作品の鑑賞を行い、色や形や構図などの与える印象について話し合った。
- ・製作の途中で自分(達)の作品をよく見る時間や互いの作品を見合い話し合ったりして、意見交流する時間を十分に保障した。

○指導方法の工夫

- ・色々な材料や用具、表現方法を提示し、児童が試しながら自分の表したいことを表現できるよう、場を設定した。

○評価の工夫

- ・自分の作品の良さを見付けたり、友人の作品の良さを見付け合ったりして、評価に生かした。

8 成果と課題

《成果》・鑑賞の経験が児童の思いやイメージをふくらませ、より効果的に表現するための参考となった。

- ・互いに作品を見合い交流する中で、ものの見方や感じ方が広がり、楽しんで製作することができた。

《課題》・児童一人ひとりの製作への意欲や満足感の質の違い、製作速度の違いへの対応が難しかった。

9 予想される協議の柱

- ・鑑賞と表現を結び付けていくことが、思いをふくらましていくことにつながったか。
- ・児童の思いやアイデアを生かした指導や支援の在り方について。